

中国経済講座を開催

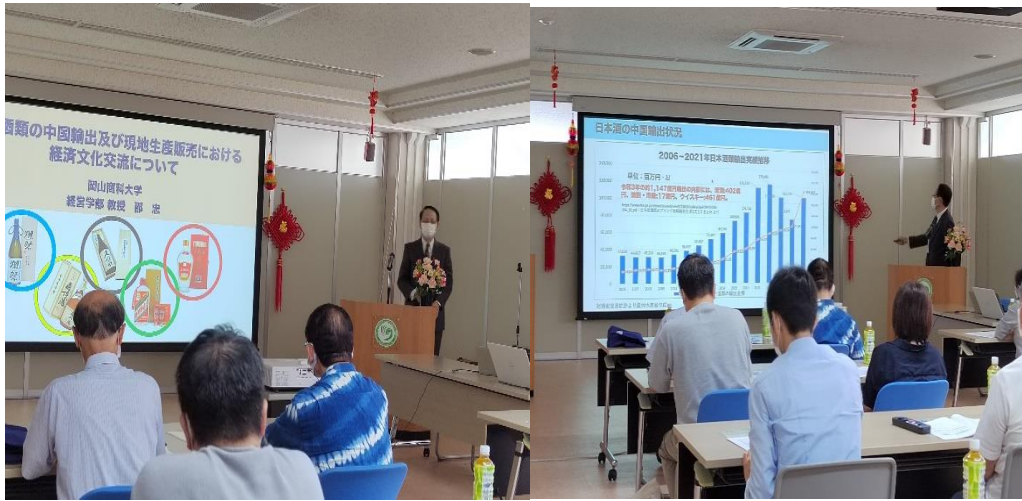
9月27日は“孔子学院の日”であり、9月29日は日中国交正常化50周年の記念日です。その二つの節目を祝うために、9月23日（金）13時30分に孔子学院で中国経済講座が開催された。また、孔子学院フロアにて大連外国語大学が主体となり、世界各地の孔子学院と大連外国語大学国際中国語教育施設を紹介する展示コーナーを設置した。

安井事務局長の司会で講座が行われ、はじめに岡山商科大学学長・孔子学院理事長の井尻先生が今回の活動を非常に重視しており、ご多忙にもかかわらず、中国経済講座に参加され、開幕の挨拶された。続いて、黎曉妮学院長は挨拶の中で、孔子学院の日の由来と大連外国語大学が世界各地で設立された孔子学院について簡単に紹介。



その後、岡山商科大学経営学部の邵忠教授より「日本酒類の中国輸出及び現地生産販売における経済文化交流について」というテーマで講演を行っていただいた。新型コロナウイルス感染が再拡大し続ける中での開催であるため、当日は主に孔子学院の受講生と岡山商科大学の教職員、留学生を合わせて22名の参加となった。

中国経済講座では邵忠教授は50年前に日中国交正常化を機に、日中間において、様々な分野での経済、文化交流が盛んに行われてきた。特に、紹興酒などの酒に代表される中国酒が日本に輸入され、特に、1979年中国の改革開放政策が実施された後に、日本酒が中国への輸出、現地販売の状況などを紹介しました。



参加者からは「飲酒習慣について興味深く聞かせていただきました」「日本酒がどのように、中国で売られていて、日本での人気とは別で、販売戦力の重要性がよくわかりました」「日本酒が日本文化とセットで広がっているのは初めて知りました」「とても有意義な話でした」といった感想のほか、孔子学院への要望や期待する行事については「人的交流が早くできるといい、大連の都市観光等を行ってみたい」、「中国のお菓子の作り方などを教えてほしい」「本学の大学祭で模擬店の出店と特設ステージでのパフォーマンスをよろしく願います」との声も寄せられた。



新型コロナウイルスの感染がいつ終息するのかいまだに見通せない中、イベントの開催規模などについて、今まで以上に望むことは難しくなってきたが、

それらの要望に応えられるよう、スタッフ一同が相変わらず精いっぱいに取り込んで行きたいと考えている。

文：李東輝・孫文選

2022年9月25日